

平成25年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担当課：道路局 高速道路課

担当課長名：中神 陽一

事業の概要

事業名	一般国道42号 湯浅御坊道路 4車線化	事業区分	一般国道	事業主体	西日本高速道路(株) (想定)
起終点	自：和歌山県御坊市野口 至：和歌山県有田郡有田川町天満	延長	19.4km		
事業概要	一般国道42号 湯浅御坊道路は、和歌山県御坊市野口から和歌山県有田郡有田川町天満に至る延長19.4kmの高規格幹線道路であり、紀伊半島北西部における地域の連携強化や交流を促進するとともに、紀伊半島中南部地域と京阪神地域を結ぶネットワークを形成する自動車専用道路である。				
事業の目的、必要性	一般国道42号 湯浅御坊道路は、近年の交通量の増加、それに伴う渋滞も慢性化しており、さらには平成23年5月の海南～有田の4車線化完成により、隣接区間である当該路線に渋滞が移行し、休日等には交通渋滞が更に激化している。これらの状況を踏まえ、交通混雑の緩和、円滑な交通流の確保、交通事故の減少、更には台風等による土砂災害や東海・東南海・南海地震等の地震災害時の機能の強化、それらに伴う地域の発展と活性化に資することを目的に4車線化を図るものである。				
全体事業費	約710億円	計画交通量	約12,500台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<p>【和歌山県知事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道42号湯浅御坊道路4車線化の予算化については同意。 (当該区間は、暫定2車線区間として全国有数の交通量を有し、慢性的な渋滞や対面交通による重大事故が多発。また、南海トラフの巨大地震など大規模災害時の緊急輸送道路となることから4車線化は不可欠) <p>【西日本高速道路(株)代表取締役社長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島を一周する高速道路は、東南海・南海地震に備えた「命の道」として、また災害時等における一般国道42号の代替え機能として、早期整備が望まれている、大変重要な路線。当該道路の4車線化事業は、全国路線網の機能強化を図るため、有料道路事業で実施する意向。
----------------	---

学識経験者等の第三者委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業化については妥当である。 この区間では効果があるが、その先の区間に渋滞が及ぶ可能性があり、御坊～南紀田辺間の4車線化が図られることにより、全体として更に大きな効果が見込まれるものである。
------------------	--

事業採択の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> 費用対便益：便益が費用を上回っている 手続きの完了：都市計画決定済み(平成22年11月)
-----------	---

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1	総費用：346億円 事業費：328億円 維持管理費：18億円	総便益：383億円 走行時間短縮便益：363億円 走行費用減少便益：11億円 交通事故減少便益：9億円	基準年 平成24年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.0 (交通量 -10%)	B/C=1.3 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.0 (事業費 +10%)	B/C=1.3 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.0 (事業期間 +20%)	B/C=1.3 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	4車線化に伴う交通容量の拡大により、当該箇所が発生している渋滞が大幅に緩和(当該路線の交通容量 現況 10,000台/日→ 整備後 32,000台/日)	
		事故対策	◎	剛性の高い中央分離帯を設置されることにより、安全性が向上。 【正面衝突による死亡事故件数 ※現況は当該路線のH20～H24のデータ】 現況4件→整備後0件(NEXCO西日本管内の4車線以上区間のH20～H24実績)	
		歩行空間	-		
	社会全体への影響	住民生活	○	交通混雑の緩和により、地域住民の円滑な移動を確保。	
		地域経済	○	4車線化に伴う信頼性の高いネットワークの形成により、物流の効率化及び観光の活性化に寄与。	
		災害	◎	4車線化に伴い災害による通行止めのリスクを低減し、広域交通ネットワークの安全性・信頼性を向上。	
環境		-			
	地域社会	○	御坊市と有田市の地域連携強化が期待。		
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年11月24日付け、都市計画決定済み。環境影響評価実施済み。 和歌山県知事が有田から南紀田辺間の4車線化を要望。 			

採択の理由

<p>費用便益比が1.1と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定が完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。</p> <p>また、東海・東南海・南海地震時における緊急輸送路の確保、交通渋滞の緩和等、当該事業の必要性・効果は高いと判断出来る。</p> <p>以上より、本事業の新規事業化については妥当である。</p>

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。